

## 地域教会が目指す目標

1. 地域教会の目的：①聖書の学び ②共同体としての祈り ③聖礼典の実施 ④霊的賜物の行使  
⑤罪に対する罰則を科す ⑥宣教師の派遣や支援 ⑦貧しい信者への施し ⑧弟子訓練  
⑨メシアのみからだ（普遍的教会）を建てる ⑩善を行う（ガラ6：10は兄弟に対して）  
⑪メシアの愛を示す ⑫神をあがめる
2. 群れを構成する羊たちの使命 ～牧者（リーダー）に従う  
1コリ16：15-16、1テサ5：12-13、1テモ5：17-19、ヘブ13：7など  
\* 指導者の働きや苦勞を感謝し、敬意を示す。神の前での謙遜は、指導者への従順により示される。
3. 神の宮としての地域教会を目指して（コロ3：16～17）  
\* みことばを学び、互いに戒め合い、礼拝などあらゆる行動で、神への感謝を表そう。

## 2021年までのテーマ

- \* 2015年：「仕事に取りかかれ。わたしがあなたがたとともにいるからだ」  
ハガイ書2：4
- \* 2016年：「どうか、希望の神が、信仰によるすべての喜びと平安で  
あなたがたを満らし、聖霊の力によって希望にあふれさせて  
くださいますように。」  
ローマ書15：13
- \* 2017年：「…神がみことばのために門を開いてくださって、私たちが  
キリストの奥義を語れるように祈ってください。」  
コロサイ書4：3  
「聖書に裏付けられた聖霊の導きを」
- \* 2018年：「みことばを行う人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけ  
の者となってははいけません」ヤコブ書1：22  
「生きて働く信仰」
- \* 2019年：「心を新たにされ続けよ」（ロマ12：2）
- \* 2020年：「神に愛された者」（1ヨハネ4：7）
- \* 2021年：「神の御住まいとしての教会」（エペソ2：22）



希望の光バプテスト教会

2022年2月6日（日）

礼拝メッセージノート

「神の宮である意識を絶やさずに～今年のテーマを振り返り」

| 2022年度の目標を覚えて① エペソ人への手紙2：19～22 他 小野寺 望 牧師

## 【 エペソ人への手紙 2章 】

- 19 こういうわけで、あなたがたは、もはや外国人でも寄留者でもなく、聖徒たちと同じ国の民であり、神の家族なのです。
- 20 使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられていて、キリスト・イエスご自身がその要の石です。
- 21 このキリストにあつて、建物の全体が組み合わされて成長し、主にある聖なる宮となります。
- 22 あなたがたも、このキリストにあつて、ともに築き上げられ、御霊によって神の御住まいとなるのです。

\* 特に断りがない限り、新改訳2017より使用

## ◆はじめに ～2021年度のテーマを振り返り

- 1.2021年度の目標：「神の御住まいとしての教会」(エペ2：1-22)
- 2.「教会」としてどうだったか？：①「教会」とは何か(2021年2月のダイジェスト版)  
②それぞれに対する課題 ③新年度テーマへの導入

## ◆メッセージのアウトライン紹介とゴール

### | 教会の理解を深め、試練の中で主イエスを見上げよ

\*このメッセージは、2022年の教会テーマのためのものである。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

## I 二つの教会

### 1.ギリシャ語「エクレシア」

- (1)「この世から召し出された会衆」という意味。
- (2) 古典ギリシャ語では「集会そのもの」例 使19：32
- (3) 普遍的教会(目に見えない教会)を指す。①あらゆる場所、あらゆる信者。
- (4) 地域教会(目に見える教会)を指す：原語が単数形、複数形と両方あり得る。

### 2.普遍的教会の定義

- 1.すべての信者(クリスチャン)が含まれている。
- 2.新約時代の中のある期間である(新約時代はキリストの十字架以降を指す)  
(1)ペンテコステの聖霊降臨(使2章)から、教会携挙(空中再臨)まで  
①教会携挙で、教会(信者一人ひとり)が瞬時に天に上げられる。
- 3.未信者はひとりも含まれない：地域教会には、信者と未信者が混在する。
- 4.メシアに属する(私有財産である)。  
(1)イエスの預言(マタ16：18)…聖書中で「教会」に関する最初の言及  
(2)初代教会のリーダーたちを訓練した。(3)聖霊を送り、教会に臨在する。  
(4)教会へ賜物の付与(エペ4：8-11)  
(5)メシアは教会のかしら(エペ1：20-23、コロ1：18)、花嫁(エペ5：25-27)

## II メシアと普遍的教会のつながり(10種)

### 1.羊飼いと羊 ヨハネ10：1-39(イザ40：10、ゼカ11：4～が背景)

- \*ユダヤ人信者と異邦人信者をひとつに集める(前回の「奥義」参照)
- \*時間的に展開する羊への働き：羊のためにいのちを投げ出す(過去)  
①今は大牧者として羊をきよめる(大祭司としてとりなし) エペ3：10-11  
②将来は羊に褒美を与える。 1ペテ5：1-4

### 2.ぶどうの木とその枝 ヨハ15：1-6

- (1)力(成長するための養分)をいただく。(2)不要な枝は刈り込みされる。  
①祝福や懲らしめによって整え、多くの実を結ぶようにする。

### 3.隅のかしら石と石の建物 エペ2：19-22

### 4.大祭司と祭司の王国 エペ3：1、4：14-5：10、7：1-10：18、黙1：6など

- (1)イエスは祭司の王国(普遍的教会)のためにとりなしの祈りをささげている。  
①信者に永遠の救いが約束されている根拠である。  
②イエスの役目の変化：預言者(初臨)→大祭司(現在)→王(再臨後)
- (2)信者は祭司の王国として、ささげ物を捧げる。  
①自分の体(ロマ12：1-2)、礼拝・賛美、感謝(エペ13：5、1ペテ2：5など)  
献金や善行(エペ13：16)

### 5.かしらとからだ 1コリ12：12-27

### 6.最後のアダムと新しく造られたからだ 1コリ15：20-22、45-49

- (1)立場の変化  
①アダムにあって死んでいた→キリストにあって生かされている。  
②「キリストとの一体化」「転嫁」ロマ5：12-21、2コリ5：17、ガラ6：15
- (2)信者は新生し、新しい性質を受ける者とされた。

### 7.花婿と花嫁

- (1)地上の結婚関係は、キリストと教会の関係の「型」 2コリ11：2

### 8.相続人と共同相続人

- (1)メシアは神のひとり子であり、神の相続人である。
- (2)信者は信仰によって養子となり、共同相続人となった。ロマ8：17
- (3)御子は万物の相続者であり、信者は御子と共に世界を治める。エペ1：2

### 9.初穂とその後に続く収穫 1コリ15：23

- (1)キリストは初穂として復活された。
- (2)初穂に続いて、キリストを信じる者が復活する(収穫物)
- (3)この約束が、地上生涯の困難を乗り越える力となる。

### 10.主人としもべ 1コリ7：20-2

- (1)信者は代価をもって買い取られた奴隷(しもべ)である。

## ◆まとめ：教会の理解を深め、試練の中で主イエスを見上げよ

### 1.地域教会が目指すゴール

- (1)御名をもって呼ばれる民を召す。使15：13-18
- (2)ユダヤ人に妬みを起こさせる。ロマ11：11-14  
①「バラ」そばに +「ゼイラオウ」燃やす、嫉妬で顔を赤くさせる、など
- (3)神の豊かな知恵を示すため。 エペ3：10-11  
①「天にある支配と権威」：墮天使たちのこと 6：12参照  
②教会を通して行っていることを、悪霊どもが知ようになる。
- (4)神の臨在の場となる。 エペ2：20-22
- (5)神に永遠の栄光をもたらすため。 エペ3：20-21

\*父と共にあったキリスト(ヨハ10～)にあって、神に栄光をもたらせ

### 2.教会にとっての試練とそれを乗り越える秘訣～本年テーマ エペ12：1-26